



躍進する生長の家社会事業団

公益財団法人
生長の家社会事業団
〒186-0003
東京都国立市富士見台 2 丁目 39-1
TEL:042-843-0075 070-2820-0631
FAX:042-573-9205

万人に救いを与える

お守り『聖經続々甘露の法雨』大贈呈運動に立ち上がろう!!

理事長 久保 文剛

新年、明けまして

おめでとごさいます。

このたび、本年一月一日よ

り、『聖經続々甘露の法雨』

が、お守りとして、著作権

者である生長の家社会事業

団の正式許諾により、光明

思想社謹製で頒布されることとなります。

『続々甘露の法雨』は、『甘露の法雨』及び

『天使の言葉』に続く神授の聖經として、昭

和二十五年十二月二十日初版発行され、同時

に谷口雅春先生より著作権が生長の家社会事

業団に託されました。

初版発行後、この『聖經続々甘露の法雨』

読誦により、医者から見放された難病患者が

起死回生する等々の驚くべき神癒体験が全国

で続出しました。

このため、昭和三十年十一月二十二日・

二十三日、谷口雅春先生は、新築後の生長の

家本部会館での秋の記念祝賀講習会におい

て、『続々甘露の法雨』の連続御講義をされ

ました。その御講義の冒頭「ここに『続々甘

露の法雨』という聖經がありまして、これは聖



「続々甘露の法雨」のお守り

經『甘露の法雨』の続編でありまして、特に

病人がこれをお読みになれば恐怖心が去り、

自然良能が活発になって難病の方でも不思議

に起死回生の功德を得ている人が多く出てい

るのであります。」(大聖師御講義『続々甘露

の法雨』二七頁)とお説き下さいました。

このような偉大な功德を実証している

『続々甘露の法雨』が常にお守りとして携帯

できるようになったことは、生長の家人類光

明化運動の歴史において画期的であると言え

ます。

谷口雅春先生は、聖經を受持する(お守り

として携帯する)ことの功德について、『生

命の實相』実相篇の締めくくりで次のように

記されています。

「総じて明るい言葉を書いた書物より発する

光は善靈を呼び、暗い言葉を書いた書物より

発する光は悪靈を呼ぶのであります。『法華

經』や『甘露の法雨』が、それを受持し、

書写し、読誦するだけでも功德があるとい

うのは、その言葉の靈波のしからしむるところ

だと考えられるのであります。」(新編生命の

實相第四卷二三三四頁)

『聖經続々甘露の法雨』は健康問題だけで

はなく、家庭、教育、経済、政治、社会生活

等の様々な問題で救いの功德を与える、住吉

大神御神授の聖經です。

住吉大神様より靈的使命を授けられました

皆さん、新年を期して、万人に救いを与える

お守り『聖經続々甘露の法雨』大贈呈運動に

立ち上がりましょう。

谷口雅春先生に

子どもたちが感謝の真心を捧げて

— 児童養護施設生長の家神の国寮 —

「創立者 谷口雅春先生に感謝するつどい」

児童養護施設生長の家神の国寮では、毎年 11 月、創立者谷口雅春先生のお生誕日に、ご墓所のある多磨霊園において「創立者谷口雅春先生に感謝するつどい」を行っております。

谷口雅春先生は大東亜戦争が終わったばかりの昭和 20 年 9 月、食料も生活物資も乏しいなか、戦災孤児を保護されました。そして、昭和 20 年 11 月、神の国寮の母体となる生長の家社会事業団への協力を全国の信徒に呼びかけられ、自ら生命の實相・聖經等の著作権をはじめ私財を生長の家社会事業団にご寄付されました。それから、入所児童の親代わりとなって子ども達を育成され、卒寮して自立していく子ども達を祝福されました。

「神の子」の生命をどこまでも尊ばれた愛深い谷口雅春先生をお偲びし、今年も職員・児童が一同に会し、谷口雅春先生の墓前で、一人一人が手を合わせ感謝と決意の言葉を唱えお焼香をしました。(國弘記)



創立者谷口雅春先生の墓前で手を合わせ感謝を捧げる子どもたち

四国で初開催！！

9回通算705名が受講！

1000の講師、
1000の誌友
会を指して、
このみ教えが千
年も万年も続く
よう前進を誓い
合いました。



み教えを正しく、歪みなく、
全相的に深く学ぶ！

平成28年11月25日～27日、香川県高松市の「オークラホテル高松」を会場に、『生長の家教義』研修講座を開催。地元香川県をはじめ愛媛、徳島、高知、岡山、広島、山口、島根、佐賀、大阪の十府県から86名の受講者が結集しました。平成25年に第一回を東京から出発し、福岡、神戸、東京に戻り、仙台、岡山、愛知、再び東京、そして第9回を初めて四国で開催しました。9回を通して研修講座の受講者は、延べ705名（実数582名）となりました。

先祖供養の本義を説く「真理と人生と先祖供養」。古事記と天皇陛下の大御心を学ぶ「天皇国日本」。そして生長の家の神であらせられる「住吉大神の使命を受けて」と、尊師のみ教えを正しく、歪みなく、全相的に深く学ぶ圧巻のプログラムでした。三日間の研修で新たに26名（通算203名）が講師となり、8会場の誌友会が誕生しました。尊師谷口雅春先生が神界から私たちを護り導き給うことを信じ、尊師の御名を唱えつつ、「一つの行をやり抜くこと」、「丁寧な先祖供養運動を展開していくこと」、「誌友会を開催していくこと」の決意に立ち、

講義は、尊師谷口雅春先生がお悟りになられるまでの歩まれし道と生長の家の神観を説く「唯神実相の真理を学ぶ」。「神観の本義と実修—行を生きる」。心によって運命が変わる「唯心所現の原理」。

さあ！次は近畿
いよいよ大阪で開催！！
日程：平成29年6月末ごろ
お申込み・お問い合わせ
070-2820-0631



香川県高松会場（オークラホテル高松）前

「生長の家教義」を体系的に学ぶ研修プログラム		
1日目 (25日)	2日目 (26日)	3日目 (27日)
開会式 第1講座 阪田成一講師 「唯神実相の真理を学ぶ①—超宗教を建てるまで」 第2講座 阪田成一講師 「唯神実相の真理を学ぶ②—神観「物質無・肉体無」今の哲理」 全参加者の研修1 (全体自己紹介) 第3講座 前原幸博講師 「神観の本義と実修—『行』を生きる」 神観実修	聖経『続々甘露の法雨』読誦 第4講座 國弘昭義講師 「三界唯心所現の原理—心と人生と運命」 第5講座 安東巖講師 「真理と人生と先祖供養」 全参加者の研修2 (教義・運動に関する質疑応答) 講師任命式 第6講座 上野耕治講師 「天皇国日本①—古事記講義」 大日本神国観実修 前原幸博講師先導	聖経『天使の言葉』読誦 DVD上映「天皇陛下の御聖徳」 第7講座 安東巖講師 「天皇国日本②—天皇陛下の大御心」 第8講座 久保文剛講師 「我ら住吉大神の使命—今、受けて」 結語 安東巖講師 全参加者の研修3 (3日間の感想・決意発表) 「研修講座終了証書授与式」・閉会式



トピック - 神観の奇蹟

— 高級霊の靈光降りそそぐ —

胸に迫る講座を重ね、2日目の夜。「大日本神国観」の実修が前原幸博講師の先導で行われました。

清浄で温かな空気に包まれ、厳浄が心身に沁み通り、実相浄土に座っているような神観の時間でした。

翌朝、「不思議なんです！」と昨夜の神観の写真を見せられました。それを見ると天井から幾本もの光の線が縦に走っています。他の写真を確認すると、昨夜の神観の時間に撮った写真だけに光の線が写っていました。

嘗て、大阪の和泉道場の浄心行で、焼却用のローソクから、斜めに走る光の線が写った写真をご覧になった谷口雅春先生は「これは焼却中の業や因縁を搬び去る為に出現した高級霊の軌線である」と仰ったそうです。それにならうなら、この神観中に天から降りそそぐ光は、真実、高級霊の救いの放射と言えるでしょう。

★高級霊の軌線が写る
神観中の写真



★平常の写真 →



谷口雅春先生のみ教えを生きる!!

歓びの決意続々と!

3日目の全体研修では、「谷口雅春先生と一体となって誌友会を開いていきます!」「谷口雅春先生の御名を唱えつつ、

み教え正しく伝えていきます!」と次々に手が上がり、歓びの決意が発表されました。

《よろこびの体験生まれる》
20年間手放せなかった精神安定剤から解放!

島根県 岩見良 (64歳)

谷口雅春先生のみ教えを体系的にその奥の奥まで学ぶことができ、感激感動の連続でした。卒寿を過ぎた母が、還暦を迎えた私の健康を祈り続けてくれた真理は、ここにあったのかと親への感謝と恩を強く感じました。

さらなる喜びは、この研修期間中に、20年間、一日も手放せなかった精神安定剤から解放されたことです。帰宅してからも頭もすっきりして、穏やかな気持ちで仕事に集中しています。

この喜びを早速、家族、隣のおじさん、おばさんたちに伝えました。これからも、たくさんの方に谷口雅春先生のみ教えの素晴らしさを伝えていきます。

《感涙の決意》

天皇陛下の御心を子ども達に伝えたい!

愛媛県 越智友美 (17歳)



純粋な涙に会場ももらい泣きました

日本の国は、世界一ありがたい国だと心から思いました。日本は天皇陛下の祈りに守られているなあと思います。御製にあふれ出ている天皇陛下の御心を子ども達に教えたい!と思います。

日本はこれから本当によくなくなります。それは、私たちに生長の家の祈りがあり、谷口雅春先生がいらっしゃる。そして、ご先祖様に導かれ、私が教員となって、日本がいかに素晴らしくあ

りがたい国かを教えるからです。日々、神想観を実践し、先祖供養をすることで勉強にますます励みたいと思います。

「造化の三神」と「住吉大神」との

違いがよくわかりません

質疑応答のひとコマ

Q、教団は新たに造化の三神(天之御中主神・高御産巢日神・神産巢日神)を龍宮住吉本宮の御祭神にしましたが、「造化の三神」と「住吉大神」との違いがよくわかりません。

A、造化の三神は、絶対者であり応化して人格神(住吉大神)として顕現しなければ具体的救済を実現することはできません。

「造化の三神」は宇宙普遍の神であり、超越的な絶対者です。尊師谷口雅春先生は昭和45年3月号の『白鳩』誌で「超越的な絶対者は、絶対者であるが故にわれらに語りかけて対話を交えることはあり得ない。それ故、神が救済を完うし得るには、絶対者が相対的人格神(応化神)として顕現(あらわ)れて来て、はじめて救済の御業が現実となる。すなわち天之御中主神が住吉大神として顕現しなければならぬのである」旨、お説きくださっています。

その住吉大神について、尊師は「月初め感謝祭」において次のようなお言葉を下されました。「住吉大神様は愛の神の体現者として、そして全ての罪を浄めてなくしてしまう働きをもつて顕現(あらわ)れてこられたのであって、法則の神様というよりは、人格の神様でありますから、私は住吉大神にいたい!おめにかかりたい!という感じがするのです。それは本当に、お父さん!お母さん!とかいうような気持ちなのです。住吉大神様は人格的のふれあいの神様であります。すべての過ち犯したる罪けがれをすすね、ことごとく撰取して、そしてそれらを戒い浄めくださって、実相の完全な姿をあらわし給うところの神である。そういう意味において、必ず月の初めには、ご挨拶申しあげ、感謝申しあげるために、お参りをさせていただいているのであります。」

この住吉大神様が、尊師に天降り給うて、私たち一人一人を救うために『生長の家』の立教へとお導きになったのです。

それにもかかわらず現教団はその住吉大神様を信仰の中心の座から外し、新しい神(造化の三神)を中心据えたのです。聞くところによると、総本

山ではもう、住吉大神の御神符はなく、造化の三神の御神符のみが頒布されているそうです。これは明らかな神様の変更でしょう。だから、住吉大神様のない今の教団には、救いもなく奇蹟も生まれてこないのです。

住吉大神様を外した現教団は、尊師が創始された『生長の家』とは、全く違った宗教になったことを信徒は知らねばなりません。

Q、まだ教団に残っている人たちに、全く違った宗教になったことを、どのように説得したらよいでしょうか。

A、説得するというよりも、「愛とお世話で救う」ということです。

皆さんの話を聞いてみると、何とか教団に残っている人に正しい事を知らせ解ってもらって、できるなら私たちと一緒に活動してもらいたいと願っていることがよくわかりました。しかし説得したら私達の方に来てくれるかというところはなりません。では、どうしたらいいでしょうか。

それは、説得の力でなく愛の深さ、お世話の深さで勝利することです。

人は愛のあるところ、心からのお世話があるところに集まってきます。皆さんは、まず尊師谷口雅春先生のみ教えを正しく生き、祈り、祝福する誌友会を開き続けてください。そうしたら、きつと自分にふれる人から体験がどんどん生まれてきます。皆、救われたいのだから、救われるところに人は集まってくるのです。その方達に谷口雅春先生とともに生き、真理を実践したら、必ず幸せになることを真心もって伝えればいいのです。

くりかえしますが、説得するというよりも、「愛とお世話で救う」ということです。そうならば、私たちは必ず大きなグループになり、武道館で万人の全国大会もできるようなるでしょう。

そのときこそ、尊師谷口雅春先生へ本当のご恩返しができるのだと思います。

創立70周年五つの記念事業

- 1、『生命の實相』・聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く！
- 2、「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大！
- 3、日本一の「児童養護施設生長の家神の国寮」の実現！
- 4、「生長の家教義」研修講座と「青少年練成会」の全国開催！
- 5、「谷口雅春先生記念館」創設に向けて！

『生命の實相』・聖經『甘露の法雨』を護り抜く献資奉讃が続々と！！

生長の家社会事業団では、左記の「五つの事業」を計画し取り組んでいます。皆様の尊いご献資に支えられ聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を護持しています。ここに謹んでご芳名を記載させていただき、深甚の感謝を捧げさせていただきます。

五つの事業を支える奉讃者 287名 = 平成 28年 12月 15日現在



- 「奉讃献資者」ご芳名
- ① 300万円 匿名1名
 - ② 65万円 匿名1名
 - ③ 200万円 匿名1名
 - ④ 100万円 匿名1名
 - ⑤ 200万円 匿名1名
 - ⑥ 100万円 匿名1名
 - ⑦ 100万円 匿名1名
 - ⑧ 100万円 匿名1名
 - ⑨ 100万円 匿名1名
 - ⑩ 100万円 匿名1名
 - ⑪ 100万円 匿名1名
 - ⑫ 100万円 匿名1名
 - ⑬ 100万円 匿名1名
 - ⑭ 100万円 匿名1名
 - ⑮ 100万円 匿名1名
 - ⑯ 100万円 匿名1名
 - ⑰ 100万円 匿名1名
 - ⑱ 100万円 匿名1名
 - ⑲ 100万円 匿名1名
 - ⑳ 100万円 匿名1名
 - ㉑ 100万円 匿名1名
 - ㉒ 100万円 匿名1名
 - ㉓ 100万円 匿名1名
 - ㉔ 100万円 匿名1名
 - ㉕ 100万円 匿名1名
 - ㉖ 100万円 匿名1名
 - ㉗ 100万円 匿名1名
 - ㉘ 100万円 匿名1名
 - ㉙ 100万円 匿名1名
 - ㉚ 100万円 匿名1名
 - ㉛ 100万円 匿名1名
 - ㉜ 100万円 匿名1名
 - ㉝ 100万円 匿名1名
 - ㉞ 100万円 匿名1名
 - ㉟ 100万円 匿名1名
 - ㊱ 100万円 匿名1名
 - ㊲ 100万円 匿名1名
 - ㊳ 100万円 匿名1名
 - ㊴ 100万円 匿名1名
 - ㊵ 100万円 匿名1名
 - ㊶ 100万円 匿名1名
 - ㊷ 100万円 匿名1名
 - ㊸ 100万円 匿名1名
 - ㊹ 100万円 匿名1名
 - ㊺ 100万円 匿名1名
 - ㊻ 100万円 匿名1名
 - ㊼ 100万円 匿名1名
 - ㊽ 100万円 匿名1名
 - ㊾ 100万円 匿名1名
 - ㊿ 100万円 匿名1名
- 柳沼美智子
- 【年払い献資】ご芳名
- ① 平成27年度 5万円 濱田博(故人)・佐藤雅春・峯松裕・世古口修一・(3万円)目黒玲子・木間明・菊池加奈子・湯山加奈江・伊東カオル
 - ② 矢萩洋子・谷口雅春先生を学ぶ会(さいたま支部)匿名3名(1.5万円)坪内重貴・市村恭子・松永清美・松永トシエ・江田ヒロ子・大井満江・中嶋祐子・富山悦子・木幡睦洋・高森百合子・丹羽冬紀子・山本泰蔵・谷見吉・田中輝代・石田晋・匿名4名
 - ③ 《他》濱田和彦・八巻好生・岩田富士雄(平成28年度)5万円 濱田博(故人)・関綾子・野田美香・松岡恵美子・菅原道夫・中西瑠美・三宅俊明・山根ハツ子・佐々木清・三宅和昭・佐藤雅春匿名4名(3万円)吉富絹夜・矢萩洋子・小野沢大史・目黒玲子・小田島佳子・鶴岡健雄・江村瑞也・伊東カオル・天野比呂史・山本泰蔵・木間明・秋島秀穂・秋島千花子・新浪春代・加藤弘高・武田征四郎・横山茂・古賀道之・牧野・細谷高彦・本間良一・後藤眞理子・山下充晃・馬場広子・渡邊一男・紙本富美・匿名14名
 - ④ (1.5万円)玉木伸芳・大木貞・大木満江・大木智康・大木卓也・田中輝代・大井満江・中嶋祐子・加藤玲子・丹羽冬紀子・中澤美津子・中條芳男・目黒美記子・中沢行雄・鈴木幸子・中山悦子・猪股隆秀・谷見吉・小田一紀・藤原誠・田内川明・江田ヒロ子・北浦徳章・石田晋・中田智愛子・落合節子・工藤清・坪内重貴・桑見正一・齋藤三郎・花岡三子・森智子・井関隆文・匿名16名(他)長谷川美智子・中尾俊文雄・佐藤眞江子・佐藤幸恵・菊地英利華・阿部育子・ヨシダマサヒロ・ヨシダヨシコ・照井久・山本よし子・馬場美津子・山下悦子・森山順子・匿名2名(敬称略・順不同)

奉讃者よろこびの声

「實相」の書と聖旗が護られ感謝の気持ちで

福岡県 丸山敏子



『躍進する生長の家社会事業団』秋号と『速報』を読み、教団を離れた信徒が「實相」の書や光輪卍十字架の聖旗を掲げられないよう、現教団が裁判を起こしていたことを初めて知り、びっくりしました。そして、「實相」や聖旗が「生長の家社会事業団」と「谷口雅春先生を学ぶ会」によって護られたことが解

り、これまで通り實相を掲げ、礼拝し、教えを学ぶことができると有難くて涙が出ました。せめてもの感謝の気持ちで献資をさせていただきます。

谷口雅春先生へ報恩の真心で毎月献資させていただきます！

愛知県 K・Y

私は80歳を過ぎ、今は年金生活ですが、畑を耕し、自分の食べる量くらいの野菜は収穫しています。谷口雅春先生のお陰で

1月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1日(日)	歳旦感謝祭	10時～	記念図書資料館屋上
15日(日)	近畿大真理講演会	13時30分～	メルパルク京都
22日(日)	謝恩祭・物故者慰霊先祖供養祭	10時～	記念図書資料館
	新編『生命の實相』輪読会	13時30分～	同所
29日(日)	東京大真理講演会	13時30分～	明治神宮参集殿

2月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1日(水)	月初め感謝祭	10時～	記念図書資料館屋上
22日(水)	謝恩祭・物故者慰霊先祖供養祭	10時～	記念図書資料館
	新編『生命の實相』輪読会	13時30分～	同所
25日(土)	埼玉大真理講演会	13時30分～	ウェスタ川越

この歳まで本当に有難く、幸せに過ごさせていただきました。報恩感謝で毎月一万円づつ、33万円の献資を頑張ります。献資を決意した途端、土地が売れた！

香川県 河田 雪子

先日、香川で行われた「生長の家教義」研修講座の一番前で講義を受け、感動いっぱいでした。献資を決意しようと思いましたが、88歳の私が出しゃばっても、遠慮して帰って来ました。帰宅してから「いや、今からでも献資させていた方がいい」と決意した途端、連絡が入り、ただ持っているだけの売れるはずがない土地が売れることになり、驚きました。

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、青少年練成、母親教室、東京「生命の實相」学習会など、関わらせていただいている行事で、奇蹟的な体験をいくつも目の当たりにし、救いの風を感じました。香川会場のご結語で、安東先生が昭和42年10月号明窓浄机に書かれた谷口雅春先生の次の御文章を紹介くださいました。「奇蹟的なことが起こるのはその宗教が生きている証拠であると言えるのである。宗教が生きているということは、その宗教運動の背後に使命を持った高級霊群がはたらいて、人間力以上の神秘的な力を発揮して、人を救済する力を持続しているということである。」

これからも、高級霊群とともに救いの風から救いの渦へと躍進する年にしたいと思います。(木下)